

知識・技能

学習指導要領改訂の要点を踏まえて

「語彙指導の改善・充実」や、「情報の扱い方に関する指導の改善・充実」、

「読書指導の改善・充実」といった、学習指導要領改訂の要点を踏まえ、内容を見直しました。

★**言葉の力を支える、確かな知識・技能が身につきます。**

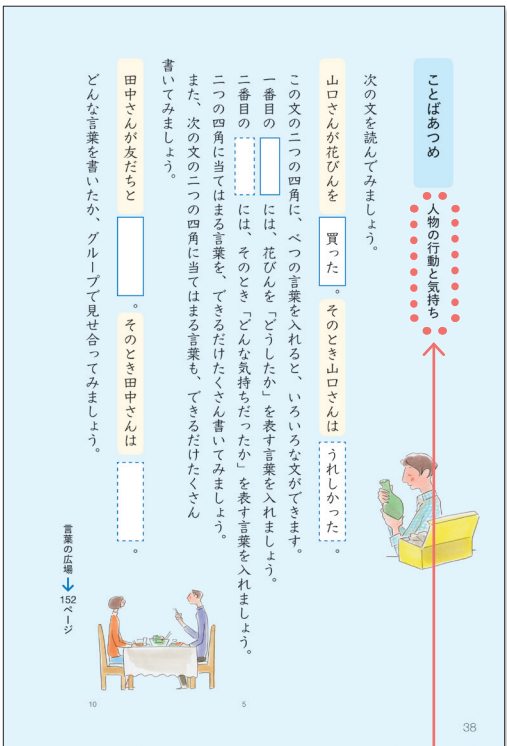
1 言葉と出会い、言葉と向き合う

言葉を集める、使う、深める

● 「ことばあつめ」を新設。学年段階に応じたさまざまな観点から言葉を集め、文の中で使う練習をします。言葉の特徴や使い方についての理解を深めながら、語彙を広げることができます。

さらに多くの言葉と出会う

● 各巻の巻末には「言葉の広場」を設定。「ことばあつめ」をきっかけに、さらに豊かな語彙を身につけることができます。また、年間を通じて学習の中でもいつでも参照し、活用できます。



ことばあつめ (三下P38)



言葉の広場 (三下P152)

言葉への自覚を高めるために

● 各学年の言語教材の一つを、その学年の言葉の学びを振り返り深める単元として設定。さまざまな言葉の特徴や使い方に改めて目を向けることで、**言葉の使い手としての自覚を高めます。**

言葉の学びを振り返り深める単元

二年	ことばを広げよう (下P114)
三年	言葉でつたえ合う (下P82)
四年	言葉で考えを伝える (下P78)
五年	日本語と外国語 (P232)
六年	言葉の学習をふり返る (P226)

日本語と外国語 (五年P232)

わたしたちは、自分の考えと相手に伝えるために、どのように使っていますか。

言葉で考えを伝える

1 言葉と自分の考えを区別する

次の言葉を見てみましょう。

① 白いくつ ② 買った ③ 走り ④ 走られた

いずれか言葉も、そのしかし、①②は、「白くつ」に対して、③④は「走る」という行為を指している。また、③④は「走る」という行為を指している。また、③④は「走る」という行為を指している。

2 考えを相手に伝える

次の言葉を見てみましょう。

村田 駅前の空は虹に似て、コンビニが黄色い。...

北山 わたしは、コンビニが黄色い。...

大竹 ぼくは反対だ。大きな木を折るべきだ。...

早川 きつと、そのうちにもう一けん、駅の前にはコンビニが建てられよう。...

北山 それは、むりだと思わないか。

このお話は、最初の村田さんの発言以外全て、考えを伝える文になっています。考えを伝えるときにどのような言葉や文のように使っているのか。

「...かよよいかな...」
「...に賛成する、反対する...」
「...入ってきたかよ...」
「...だろ...」
「...はかいない...」
「...かもしれない...」

言葉で考えを伝える (四下P78)

学習に寄り添う語彙学習

● 各単元末の「言葉」では、学習内容に関わる話型や文型、言葉を取り上げています。教材文の中で出会った言葉をきっかけにほかの言葉に目を向けたら、使う言葉を意識しながら活動に取り組んだりすることで、**確かに使える語彙力が育ちます。**

言葉

人の様子を表す言葉

べそをかく (61ページ10行目)
むきになる (62ページ2行目)
むねをはる (63ページ11行目)

言葉

予想される反対意見に対する言葉

確かにしもいけません。
〜と考える人もいます。

反対の立場を考えて意見文を書こう (五年P191)

2 情報の扱い方を身につけ、思考を育てる

書き出したカードを整理したい

運動会でリレーの選手になりました。
わすれ物をしない。
名前をよばれたら、大きな声で返事する。
漢字をたくさんおぼえたい。
休まずに学校に来たい。

もっとピアノが上手になりたい。
習字で5級を取りたい。

毎朝、犬の散歩をする。
家に帰ったらすぐにお風呂そうじをする。
早寝早起きをする。

● たくさん読んだことがあるときには、つながりのあるものをグループにまとめ、出しを付けて整理してみよう。
まとめるときには、ことがらどうしに共通点やつながりがあるところがないかどうか、考えよう。

● ほかにも、次のような話題について、思いつくことをカードに書き出して、グループにまとめて整理しよう。
・ クラスのときどきに気をつけること
・ クラスのお楽しみ会での役割
・ わたしたちの町のよいところ

● たくさん読んだことをグループにまとめて整理するとき、どんなときに役立つだろうか。

付録

13

グループにまとめて整理しよう (四上P13)

■ 木村さんたちが原因について考えた付せんメモ

いそがしくて本を読まない人が増えている。
・ 習い事。
・ 委員会活動。

読みたい本がない
高学年向けの本はむずかしい。
文章が長い。
おもしろそうな本が見つからなくなった。

今まで本を読んでいた時間が使えなくなった。
本が好きな人は、ゲームやテレビのほうが楽しい。

一人では、思いつかなかった原因もある。みんなを出し合った、考えが広がった。

問題解決のために話し合おう (五年P108)

グループの合い言葉をきめよう (三上P121)

なかま分け
・ 言葉の意味や考えた理由など、いろいろな見方から考える。
・ 同じところや、分け方を考える。

15

グループの合い言葉をきめよう (三上P121)

3 好奇心・探究心を育む本との出会い

本がいやなく、もう一つの世界へ

わたしは子供のころ、本を読むのが好きでした。イギリスの児童文学「ツパキとアマゾン」を読んだら、心の中で、物語に登場する子供たちと一緒に冒険の旅を楽しみ、ミートパイを食べました。物語が、現実とは全く別の世界を生み出す体験させてくれたのです。それがとても楽しかった。後には、本のイギリスのミートパイの味を知り、感動したことも覚えていて、子供たちと一緒に楽しむことができています。心から楽しんだ気持ち、物語の中に入ると、その世界を生き、物語を書いている。それは、それだけではありません。

本は友達

上野 菜穂子 文
上野 菜穂子さんは、児童書の作家で、多くの児童書を書いています。

それは、自分がくちくちしている世界の外に、初めて自分がつくった世界です。海の中で生まれ、海を泳いでいるには、たぶん海は見えていません。でも、その魚が、何かと遊んで、海の上を泳いでいる。空から海を見下ろす。大きな海を自由にした。あー、自分は、こんな世界を泳いでいる。と、おもしろく感じました。わたしは、みなさんと同じように、海の外に出て、海を生きてみたいと思っています。しかし、自分だけの世界を泳いでいるだけでは、ほかの世界の人たちにはあたりまえじゃなかった。と気づかされた。だから、わたしは、自分だけの世界に行くのではなく、ほかの世界へ、外から自分の世界を見ることができるようになりました。自分の世界の外に出て、いろいろな世界を見ることができるようになりました。自分の世界の外に出て、いろいろな世界を見ることができるようになりました。自分の世界の外に出て、いろいろな世界を見ることができるようになりました。

6年生の本だな (六年P88)

「〇年生の本だな」以外でも、積極的に図書を紹介しています。別紙「検討の観点と内容の特色」も併せてご覧ください。

六年生の本だな (六年P88)

六年生の本だな (六年P88)

四月に押さえる、学びの基礎

「書くこと」の小単元では、情報の扱い方に重点を置いて展開。国語に限らず、他教科や生活の中でも使える汎用的な力だからこそ、**学年の初めにしっかりと押さえ**ます。

4月の「書くこと」小単元

六年	五年	四年	三年	二年
原因と結果に着目しよう (P12)	事実と考えを区別しよう (P12)	グループにまとめて整理しよう (上P12)	くらべてみよう (上P12)	いくつあつめられるかな (上P12)

思考操作を視覚化

情報の扱い方として重要なさまざまな思考操作。それらが**学習の中で「見える」**ように、具体的な学びの姿として取り上げていきます。思考操作に関わる知識・技能は、**「おさえる」**でも**「提示」**、**「学びの中の確実な定着を図ります」**。

読書の楽しさを広げる

夏休み前の児童の読書意欲を高めるため、**「本は友達」**を設定。著名人による読書についての文章を導入として、「〇年生の本だな」で多様な図書を紹介しています。「〇年生の本だな」は冬休み前にも設け、**年間を通して多読を促します**。

読書を通じた豊かな人生のために

読書活動を通して**「読書生活に目を向ける読書単元」と、図書館の活用について学ぶ教材**を各学年に設定。学年段階に応じた**系統的な構成**で、読書を通して人生を豊かにしようとする**姿勢を養います**。

図書館活用教材と読書単元の学習内容

学年	図書館活用教材	読書単元
一年	学校図書館がどのような場所かを確かめる。 としょかんはどんなところ (上P104)	好きな物語と登場人物をカードに書いて紹介する。 ずきなおはなしはなにか (FP82)
二年	本の分類や配架に目を向ける。 としょかんへ行こう (上P28)	これまでに読んだ本を振り返り、友達と伝え合う。 どんな本を読んだかな (FP72)
三年	本の紹介の工夫を確かめる。 図書館へ行こう (上P30)	友達に読んでほしい本を選び、口頭で紹介する。 本をしょうかいしよう (FP68)
四年	NDC (日本十進分類法) や本のラベルについて理解する。 図書館へ行こう (上P28)	友達に勧めたい本を選び、方法を工夫して勧める。 本をみんなにすすめよう (FP66)
五年	図書館に置かれているさまざまな種類の資料について理解する。 図書館へ行こう (P28)	グループで本を持ち寄り、クラスの友達に紹介する。 友達といっしょに、本をしょうかいしよう (P194)
六年	地域の図書館や、学習施設・文化施設について伝え合う。 図書館へ行こう (P30)	六年間の読書生活について振り返り、大切な一冊を決めて友達と伝え合う。 読書とわたし (P190)